

一人はみんなのために
みんなは一人のために



発行所
全国生活と健康を守る会連合会
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-12-15
KATOビル3階
電話 03(3354)7431 FAX 03(3354)7435
メール ma-press@zenseiren.tokyo
毎週日曜日発行 定価日ごめ300円
1部売975円 送料1部42円

大阪・八尾 母子餓死問題を検証 二度と犠牲者を出さない対応を

大阪府八尾市の集合住宅の一室。2月22日、無職の母親(57)と長男(24)の遺体が見つかりました。水道とガスは止められ、食べかけのマーガリンや小銭などが残っており、困窮の末に餓死した可能性が高いとみられています。発見時、母親は死後1か月以上、長男は10日ほどだったとみられています。この重大な出来事について、弁護士や大学教授、大阪社会保険推進協議会(社保協)、全大阪生活と健康を守る会連合会、八尾社保協、八尾生活と健康を守る会などのメンバーが集い、調査団会議を開きました。

4月4日に 調査団会議を行う

2月22日に大阪府八尾市で母子餓死事件が発生し、4月4日にその調査団会議を行います。この事件は生活保護を利用していた母親と同居していた息子が餓死したものです。

保護費取りに来ず なぜ対応遅れたか

母親はくも膜下出血で手術した経緯もあり、足が不自由で息子が肩を貸して援助していました。担当ケースワーカーは家まで行き声をかけました。昨年12月26日が翌月1月分の生活保護費の支給日でしたが、ケアマネージャーが遺体を発見した

ケアマネージャーが 遺体を発見した

介護支援を受けていた母親を訪ねたケアマネージャーが応答がないことを不審に感じ、倒れを理由にガスと水道が



発言する尾藤廣壽弁護士(中央)

保護運用 柔軟に

厚生省が事務連絡

新型コロナウイルスで判断して差し支えない感拡大で政府の緊急事態宣言を受け、厚生労働省は4月7日付の事務連絡「新型コロナウイルス感染症防止等のための生活保護業務等における対応について」で、生活保護の運用に際し柔軟な対応を採るよう各自治体に求めました。緊急事態宣言発令中の7都道府県だけでなく、各自治体も対応を重視し、このよ

問題の解明と 対策を求めて

合言葉に生確会が結成された。しかし、今回起きたような事件が起きてしまい、大変無念だと語り、「今回の事態を重視し、このよ

息吹き

新型コロナウイルス

感染者の拡大で緊急事態宣言が発出された。街では店が次々と休業に入っている。高齢者や病弱な人、障害のある人などは家にひきこもり、不安とストレスで経済的にも精神的にも追い込まれている。事務所には「介護の仕事をやっていたが、コロナをうつすか、うつされるか心配で退職した」一けがが長引く仕事を辞めた。思い切った生活保護の申請をした」など苦しい話が

今週の紙面

4月26日号

- ◇全国大会延期のお知らせ/通信ありがとうなど (2面)
- ◇わが町紹介=滋賀県近江八幡市 (3面)
- ◇沖縄「戦争マラリア」/守る新聞読んでいます (4面)

取り上げられました。今後は市に詳細な情報開示請求や質問書を出していく予定です。(吉川 均通信員)